

1)セルフマネジメント [プロフェッショナル(自律・自立型)人財の育成]

(2)ホスピタリティ・コミュニケーション研修 [自分理解・自己分析]

自己の行動傾向を深く理解

特徴

- 社内でのコミュニケーションを円滑にするための基礎【報告・連絡・相談】を学びます。相手の立場や次の行動を考えて、自己の言動を意識できるようになります。
- 自分のあるべき姿、自ら行動することの重要性とは何かを理解します。
- 他責と自責、まず自分の行動の在り方を考えることができるようになります。

対象

□社内コミュニケーションを円滑にする上でキーパーソンとなり機能することが期待される皆様

こんな会社にお勧め

- 社内コミュニケーションの重要性は理解しているが、うまくいっていないと感じている
- 役職、男女、年齢、正社員・パート等立場の違う社員が増えており、社内コミュニケーション見直しの必要性を認識している
- 「報・連・相」等基本を徹底したい

お客様の声

「コミュニケーションは自分からだと気付いた」という声をいただいております

- 自分本位な態度や思考は、周りにも良くない影響を与え、人としても信頼してもらえない。相手を変えるのではなく、**まずは自分を変えていく**ということ、責任を他人に押し付けないようにしたい。
- 自分が持っている「ものの捉え方」と他人がもっている「ものの捉え方」はまったく違うことに気付きました。**他の人がどのような考え方をしているか、自分なりに理解したい。**
- 自分の仕事には責任をきちんと持ち**、その仕事に間違いがないよう集中して行動する。

項目	目的と成果	概要
Chapter 1 社内コミュニケーション	◆社内でのコミュニケーションを円滑にするための基礎を学ぶ	1) 相手を理解するために聴く(積極的傾聴) ・積極的傾聴の目的 ・積極的傾聴の姿勢 2) ワンウェイ・コミュニケーション(一方向)と ツーウェイ・コミュニケーション(双方向) ・ツーウェイ・コミュニケーションに必要な質問力 3) 社内コミュニケーションー報告・連絡・相談 【ホウレンソウ】 ・報告 ・連絡(指示) ・相談
Chapter 2 自己リーダーシップ	◆自分のあるべき姿、自ら行動することの重要性を学ぶ	1) ものの捉え方・見方・考え方と行動変化 2) 変わらないもの 3) 主体性(積極性)を持って自分から変わる 4) 自分のできることに集中する 5) できる自分を信用し、セルフコントロールを実行する 6) 主体性のレベル 7) 主体的な行動に変えていこう!